

会 議 録

1 会議名

令和3年度第1回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項（公開）

令和3年度地域活動支援事業ヒアリング

3 開催日時

令和3年5月9日（日）午前9時00分から午後16時15分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、隠田次長、藤井班長、丸山班長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【隠田次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・本日の進行及び審査方法等について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

—資料に基づき説明—

【西山会長】

- ・意見等を求めるが無い場合、これよりヒアリングを開始することとし、事業提案者の入室を求める。

—西山会長から提案者に対し、説明時間が委員からの質問や審査時間を含め概ね20分であること及び説明と回答を簡潔にするようお願いする。併せて、審査の結果、提案事業が不採択となる場合や採択となっても100%の補助率とならない場合があることを説明する。(以下、提案者全員に上記内容について説明した後、説明を受ける) —

- ・1番の事業提案者に説明を求める。

【提案者1】

- ・「笑顔育む檜谷の里景観づくり事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【坂井委員】

- ・今まで集落の経費で行われていたと思うが、今回それを地域活動支援事業で行おうとしているのは、事業費が嵩んだことによる提案なのか。

【提案者1】

- ・提案書を見てもらうと分かるが、今回は68万円の費用を計画させていただいた。主な内容は、桜林の中に土を持ち込んで、盛り土を行い、種の植栽をしていきたいと考えている。その費用がかかるため、集落の通常費用では賄いきれない。そのため、地域活動支援事業を活用して事業に取り組むものである。

【井上委員】

- ・高齢化がとても進んでいる中で、集落の皆さんが仲良く心を合わせて取り組んでいる様子がとてもよく分かり学びたいと思うが、今までやってきた中で今回この事業を通して皆さんの気持ちの面や、集落の中で今後「こういう風にしたい」ことは新たにど

のようなことが付け加えられるか、教えていただきたい。

【提案者1】

- ・先程も申し上げたように、今までやってきた集落での活動の延長線上に今回の事業を位置付けている。そのため、今までの地域コミュニティをさらに深く進化させていくということになると思われる。特別気持ちが変わることはないが、一つ言えることは檜谷大橋を渡って沖見方面に入る際、右側に桜並木があって、きれいに整備されており、花が咲いている。その情景が檜谷集落のイメージアップにつながり、檜谷に住む集落の仲間にとっては誇りになる。地域に対する愛着が生まれる。そういったねらいも踏まえての今回の計画である。

【清水委員】

- ・球根の数が多いように思われるが、沿線沿い等の他の場所も計画しているのか。

【提案者1】

- ・ここだけである。面積に応じて、株間と畝間の計画を立て、積算した結果の数字である。彼岸花については株間が20cm、畝間が50cmである。これをもとに約500㎡で計算し、導き出した数字である。沿道川に水仙、奥のほうに彼岸花といったイメージで計画している。

【西山会長】

- ・もし採択されても比例配分による減額の場合、減額分の費用はどのように考えているか。

【提案者1】

- ・どの程度減額されるにもよるが、多少の持ち出しは集落内で相談の上、対応したいと思っている。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、1番の事業説明については終了する。
- ・2番の事業提案者に説明を求める。

【提案者2】

- ・「柳島ふれあい花壇看板事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【池田委員】

- ・今回の申請にあたりこれは材料費を申請して、工事等は全て柳島老人クラブで行うという認識で良いか。

【提案者2】

- ・違う。材料費とともに看板の文字に関しても業者に依頼して作成した。

【池田委員】

- ・7万2千円というのは、看板3枚分含めての金額で良いか。

【提案者2】

- ・そのとおりである。

【西山会長】

- ・各団体に聞いているが、もし採択になったとしても100%の補助金額にならない場合、自主財源でやることを考えているか。

【提案者2】

- ・考えている。今までの経過を見ても、今年は多くの団体から提案が出ているため100%の補助は難しいと考え、足りない分は工面することを想定している。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、2番の事業説明については終了する。
- ・3番の事業提案者に説明を求める。

【提案者3】

- ・「自主防災活動支援事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【折笠委員】

- ・AEDはどこに設置されているのか。

【提案者3】

- ・総合事務所や学校、コミュニティプラザ等の施設である。

【折笠委員】

- ・AEDが設置してある施設の職員が使い方を知っていれば問題はなく、地域の住民がAEDを使う機会も早々ないのではないか。

- ・ A E Dは沖見の里にもある。沖見の里に関しては2年に1回消防署から来て訓練用の資材等を用いて細部まで指導を行っている。

【提案者3】

- ・ 指導に関しては、会社関係や町内会だけでなく、牧地区全体の事業所関係、町内会の方も対象に考えている。また、A E Dはほとんどの施設に設置しており、施設で急務を要することがいつ起こるか分からない。その際、人の命を助られる人を一人でも多く育てていく必要があるのではないかと考える。A E Dを設置しておけば良いということではなく、我々がこのような活動をするにより、一人でも多くの命を助けることができるのではないかと考える。

【折笠委員】

- ・ 消防署から資材を借りる機会は年に何回もあるわけではない。今回は特に予算も超過している。地域活動支援事業ではなくて、市の防災対策関連の予算からもらうことはできないのか。

【提案者3】

- ・ 消防署は独自で地域活動を行うと思われるが、牧区の防災士会としてどうあるべきかを踏まえ、一つでもできることがあるならば、我々は牧区防災士会として組織があってもいいのではと考える。
- ・ 消防署の場合だと、地域住民が消防署の日程やサーバーの具合等に合わせるような形となる。しかし、今回の支援事業で保管庫を設置することにより、地域の方が使いたい、経験を行いたい時にいつでも貸し出しができるようになる。また、各地域に防災士がいるので、防災士がA E D等の資機材を使用できるようになればその地域で指導を行うことができる。
- ・ 防災士会は29人おり、その会員で実際にA E Dの訓練を行い、会員自身が能力を高めることで、最終的にスキルアップした会員が地域住民に適切な使用を教えられるようになることが目標である。

【佐藤委員】

- ・ 今回設置する防災倉庫の設置場所はどこか。

【提案者3】

- ・ デイサービスやまゆりの下にある駐車スペースの一角を借りることを予定している。

総合事務所や該当施設に話は済んでおり、地域活動支援事業で採択されるのであれば、ぜひ設置したいと考えている。

【横尾委員】

- ・購入するAEDは訓練用なのか。

【提案者3】

- ・あくまで訓練用であり、実際に使用することはできない。

【清水委員】

- ・昨年から継続となる提案で、まさにボランティア活動であると感銘を受けているが、会計収支の収入について教えていただきたい。また、保管庫の除雪はどのように考えているのか。

【提案者3】

- ・保管庫の除雪に関しては、施設の下の駐車スペースとなるので除雪が不要の場所に置かせていただく。予算に関しては、ボランティア活動で行っているのので、外部から支援がないとできないのが現状である。

【折笠委員】

- ・資材は高齢者宿泊施設の敷地にあるとのことだが、他に移すよう要望は出ているのか。

【提案者3】

- ・そういった意見はない。しかし、使用する際は事前に総合事務所でカギを受け取り、使い終わったら施錠するという流れになり、鍵をその都度借りなければならないことや、二重で施錠する構造であることから、いざ使用する時や短時間の利用にも簡単に行うことができない。我々の会員の中で鍵を所持し、いつでも使用できるようにしたいと考えている。

加えて間口が狭く、資材の取り出しが容易ではない。また、資材をバラバラに保管している状態なので、整備を良くするために今回地域活動支援事業を提案させていただいた。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、3番の事業説明については終了する。
- ・4番の事業提案者に説明を求める。

【提案者4】

- ・「ハンドストラクチャー及びテストスキー整備事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【坂井委員】

- ・ハンドストラクチャーを購入した場合、どのくらいの期間使用できるものなのか。

【提案者4】

- ・一生である。ただ、今後バージョンが増えていくと想定される。以前は、ストレートとライナーのみであったが、最近はA型という山型、真ん中だけ山で外はストレート、逆に真ん中がストレートで脇がライナーのものも出ている。今回のような大雪が降ると結晶が生きた雪になり、カップが濡れるような雪だと水が浮くような雪となる等、いろいろな雪質に対応してきているため、水を流す溝を変えることでスキーの滑走性は落ちない。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、4番の事業説明については終了する。
- ・一旦ヒアリングを中断し、休憩とする。

(休憩)

【西山会長】

- ・ヒアリングを再開する。
- ・5番の事業提案者に説明を求める。

【提案者5】

- ・「地域づくり活性化事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【高澤委員】

- ・滑り台の制作委託とあるが、どの場所で制作される予定なのか。

【提案者5】

- ・昨年度は、大量の雪があったため牧体育館の前に制作した。今年も雪があれば、その近くの場所で制作することを考えている。

【高澤委員】

- ・金額としては機械代になるのか。

【提案者5】

- ・そのとおりである。

【坂井委員】

- ・提案書の「事業の目的と期待する効果」だが、昨年度から子育て支援事業が重要だと感じ、協議会でも何らかのことは行っていきたくと考えている。昨年度事業を行った中での反省点を教えてもらえたら嬉しい。

【提案者5】

- ・昨年度は「子供たちが協力して物事を行うこと」を目的としていたが、新型コロナウイルスの影響で密になれない場面もあり、そこが反省点である。昨年の反省点を踏まえ、今年はニュースポーツを行い、子供たちがお互いに協力しながら活動できる内容を取り入れて計画を立てた。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、5番の事業説明については終了する。
- ・6番の事業提案者に説明を求める。

【提案者6】

- ・「沖見地区観光拠点づくり事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【井上委員】

- ・素晴らしい事業だと思う。これからの見通しとして、今後も事業を行う方向性で考えているのか。

【提案者6】

- ・今後行う方向で考えている。

【清水委員】

- ・年々整備されて立派だと思う。どうしても、除草剤を撒かなければならないのか。

【提案者6】

- ・除草剤を撒いて抑えないと、手入れや管理が難しくなる。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、6番の事業説明については終了する。
- ・7番の事業提案者に説明を求める。

【提案者7】

- ・「牧フレッシュガールズ活動活性化事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【西山会長】

- ・地域協議会としても、ジュニアバレーボールの方に自主的審議事項の中で意見を伺いたいと思っている。提案の中には備品の購入も見受けられるが、体育館内の備品との区分けはどのように行われているのか。

【提案者7】

- ・ボール等はボール入れに保管し、記名もしてあるので他のチームが使用することもない。ネット等は体育館のものを使用している現状である。

【横尾委員】

- ・会員は何名なのか。

【提案者7】

- ・現在、正会員が3名、前回体験会を開催した際、2名が体験入部というかたちで活動しているので、合計5名である。

【飯田委員】

- ・牧フレッシュガールズが今年で30周年という節目の年であることを受け、交流試合を「30周年記念事業」として大会に名付けることで、昨今の新型コロナウイルスの影響で大会が中止になったり、観戦する保護者の数も制限される等の体制が続いている中、地域が元気づけられる。ぜひ、交流試合の際は30周年記念事業を大会名に付け加えてもらいたい。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、7番の事業説明については終了する。
- ・8番の事業提案者に説明を求める。

【提案者8】

- ・「棚広新田の魅力発見スタンプラリー事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【折笠委員】

- ・薬師峠はすばらしい名前だが、いわれを教えてください。

【提案者 8】

- ・地域交流の場であったと把握している。今回地域活動支援事業を活用して周辺整備を行いたいと考えている。

【井上委員】

- ・事業の内容に関しては、いろいろな方に来てもらってスタンプラリーをすることだが、地域の皆さんは地域活動支援事業を活用して主にどのようなことをされるのか。

【提案者 8】

- ・今年の場合は、薬師峠を整備したり、額縁を追加したり、いわれの書かれた看板を作成することを予定している。

【井上委員】

- ・主な内容としては、作業を行ったり、地域の良いところを出し合ったりすることで良いか。

【提案者 8】

- ・スタンプラリー参加者に来てもらいたい場所を選定した後、整備して額縁を立てる流れとなる。

【清水委員】

- ・区外にも周知することだが、新聞折込を行う範囲を教えてください。

【提案者 8】

- ・上越エリアであり、主に高土地区や清里区、子安、鴨島周辺までを予定している。それ以上は新たに費用がかかる。

【飯田委員】

- ・以前も開催されたと思うが、人数はどの程度参加されたのか。また、行政関係、会社、組織に関してはどのような人が参加されたのか。

【提案者 8】

- ・会社や組織は少ないが、折込を見た家族連れが多く、総勢50人ほど来場した。

【清水委員】

- ・看板に関しては、常時立てているのか。もしくはイベント開催時のみ立てるのか。

【提案者 8】

- ・薬師峠の看板は春から雪が降るまで、常時立てたままの予定でいる。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、8番の事業説明については終了する。
- ・一旦ヒアリングを中断し、休憩とする。

(休憩)

【西山会長】

- ・ヒアリングを再開する。
- ・9番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 9】

- ・「「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・昨年に引き続き、新型コロナウイルスは収束の兆しがなく、加えて今年は予算額を大きく上回る提案が提出されている。昨年は事業を提案した後取り下げを行っているが、それだと非常にもったいない。今年もやるのか。

【提案者 9】

- ・今後の新型コロナウイルスの状況を予測することはできないが、やることを前提に考えている。例え、まつりが中止になったとしても、まつり内の催しではなく単独での開催も考えている。

【坂井委員】

- ・単独でやる場合を除き、新聞折り込みや、コロナ渦で控えるべき振る舞い餅等、経費を削れるものは削った方が良いのではないか。

【提案者 9】

- ・新型コロナウイルスのことはもちろん考慮し、必要最低限のものを提案した。

【坂井委員】

- ・新聞を取っていない人もいるので、新聞折り込みよりも広報等を活用して町内会経由で周知するほうが確実ではないか。

【提案者 9】

- ・空いた時間を利用して披露するものである。牧文化協会として進めていくうえで周知をする経費も見ているものである。

【清水委員】

- ・次世代に文化を伝える大切な催しなので、コロナ渦であっても採択された場合は取り下げることなく実践していただきたい。

【提案者 9】

- ・前は対応しきれなかったが、今回はやる前提でいる。

【西山会長】

- ・不採択となり、補助金が出ない場合でも事業は行うのか。

【提案者 9】

- ・不採択になることは考えていない。
- ・イベント等の中止・延期により活動の場がないことで、会員の気持ちが沈んでいる。会員から開催を希望する声も多く集まっている。年を重ねるごとに体力的に難しい面もあるので、今年はぜひ開催したい。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、9番の事業説明については終了する。
- ・10番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 10】

- ・「宮口古墳美化活動事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【井上委員】

- ・環境を整備するすばらしい提案であるが、宮口古墳に関しては全体的に市から補助は出ているのか。

【提案者 10】

・ない。資金ゼロの状態から事業を始めることとなる。

【井上委員】

・資料館の建物管理に関しては、市から補助は出ているのか。

【山岸所長】

・市が所有する建物である資料館の管理や周辺環境の整備として行う草刈等に関しては市が行っている。今回の提案は管理外のものであり、市の予算から補助が出ているものではない。

【提案者10】

・昔は宮口のお父さん、お母さん方がボランティアで冬の雪囲いや草刈等を行ってきたが高齢化で難しくなり、現在は宮口の笑話会という会の方々が草刈等を行っている。

【飯田委員】

・宮口のすばらしい資料館やその周辺の古墳に、多くの人々を呼び込みたいと市が掲げている中で、地元の住民が率先して行動を起こせることはすばらしいと思う。ぜひ、頑張ってください。

【西山会長】

・花の水やり等の環境整備にあたり、小型のポンプはどのように使用する予定なのか。

【提案者10】

・環境整備地が広範囲に渡るため、ジョウロを使っての水やりは難しい。公園敷地内の水飲み場を使用することはできないので、予め了承を得ている宮口の用水を使用する。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、10番の事業説明については終了する。
- ・11番の事業提案者に説明を求める。

【提案者11】

・「川上 山里の風事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

・委員から質問を求める。

【清水委員】

・コンサートを開催するにあたりピアニストを呼ぶとのことだが、ピアノはどのように用意するのか。

【提案者 1 1】

- ・一昨年同様コンサートにピアニストを呼んだ際、川上会館にもともとあるピアノは摩耗が激しいため、調律を行わないと演奏するのは難しいとの意見があった。そのため、調律を行っての使用となり、調律費用に関しては提案内容にも上げている。

【西山会長】

- ・コンサートの入場料は500円とのことだが、何を根拠に決めているのか。

【提案者 1 1】

- ・限られた人数での開催や、地域活動支援事業を利用した催し、過去の開催時の入場料等を参考に金額を設定した。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、11番の事業説明については終了する。
- ・12番の事業提案者に説明を求める。

【提案者 1 2】

- ・「地域の活性化促進事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【井上委員】

- ・事業を行うにあたり、中心となる場所や整備する場所等、具体的なものを教えていただきたい。

【提案者 1 2】

- ・灯の回廊のパンフレットにも記載されているが、牧地区でメインとなるのは牧コミュニティプラザ前の広場や、白峰地区は深山荘、川上地区は川上笑学館のグラウンド、沖見地区はふるさと村の前等、それぞれの場所で工夫を凝らして開催することを予定している。

【井上委員】

- ・広報での周知やより盛大にやることによって、この補助金額となるのか。

【提案者 1 2】

- ・各地区に聞き取りを行い、要望を集計したものを一括して見積書に記載しているので、一ヶ所で行うものではない。

【山岸所長】

- ・今の井上委員の質問は、灯の回廊に関しては市の事業という点だと思うが、開催にあたり、実際に市から提供されるものはろうそくと紙コップだけである。地域活動支援事業に灯の回廊関連を提案しているかどうかは区によって異なるが、牧区に関しては、それぞれの地区でどんなことをやりたいかを幹事役が取りまとめ、提案している。

【難波委員】

- ・牧区として予算が足りていない現状について、実際に市に伝えているのか。

【山岸所長】

- ・意見があった事を今後担当課に伝える。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、12番の事業説明については終了する。
- ・一旦ヒアリングを中断し、休憩とする。

(休憩)

【西山会長】

- ・ヒアリングを再開する。
- ・13番の事業提案者に説明を求める。

【提案者13】

- ・「泉 棚田ほたる事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・予算額を大きく上回る提案が提出されており、駐車場にかかる費用53万円は非常に多額であり、昨年購入したLEDランプ等を含め、予算で削れるところはないか。

【提案者13】

- ・できれば満額お願いしたいが、LEDランプは受注生産なので早速注文を予定している。駐車場に関しても、車両3、4台止まれるよう整備をしたいと考えている。

【折笠委員】

- ・昨年購入したLEDが壊れたとのことだが、何個ぐらい壊れたのか。

【提案者13】

- ・正確に把握していないが、およそ30個である。作業の過程で破損する等の事案があった。盗難の被害が心配だったが、そちらは見受けられなかった。

【佐藤委員】

- ・昨年も同様の質問をしたが、遠方から来た来場者のために地元の物産を売り、地元の人々とのつながりや経済的効果、農業生産の向上に結び付けてみてはどうか。今回様々な提案が出ている中で、他の団体は少ない予算で、汗を流しながら、そこに住んでいる人の息遣いを感じられる中、ライトの購入や駐車場に関しても委託する等、地域活動の意義を感じられない。次の段階の策は考えているのか。

【提案者13】

- ・地元産の農産物の販売に関しては、現在検討中である。
- ・金曜日、土曜日に場を設け、農産物の即売や、夏の暑い時期なので冷たいお茶かアイスクリームを提供し、コミュニケーションの場をつくることを考えている。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、13番の事業説明については終了する。
- ・14番の事業提案者に説明を求める。

【提案者14】

- ・「剣道活動における安全環境整備事業」について、提案書により説明。

【西山会長】

- ・委員から質問を求める。

【清水委員】

- ・防具の購入に際し、今回は一式購入するのか。

【提案者14】

- ・剣友会は防具等、道具を揃えてきてもらうことを前提に活動を行っている。防具を別々に購入すると、子供たちが練習しづらい場面も想定されるので、今回は一式用意することを考えている。

【西山会長】

- ・子供たちや保護者の方の意見で、肌に身に着ける防具の使いまわしを嫌がる子供はいるのか。

【提案者14】

- ・もともと置いてある、お下がりの防具を使用することが大前提であり、指導者で定期的に買い替えを行ったり、コロナ渦をふまえて感染症対策等も考慮しながら稽古を行っているので、そういった声は上がっていない。

【西山会長】

- ・防具のクリーニングや洗濯は可能なのか。

【提案者14】

- ・業者に依頼しているので、それなりの金額がかかる。

【西山会長】

- ・竹刀は個人持ちであるのか。

【提案者14】

- ・竹刀は消耗品であるので、そのように対応している。

【清水委員】

- ・3セット35万円とのことだが、補助希望額から削られた場合どのように考えているか。

【提案者14】

- ・結果が出てから考えなければならないが、基本は3セット必要となるので、自己負担とすることや、2セットにする等の対応を考えている。

【飯田委員】

- ・昔は、「小学校低学年には球技をさせない方がいい」等の教えもあったが、剣道に関してはどのような認識なのか教えていただきたい。

【提案者14】

- ・他の競技は分からないが、剣道に関しては一応1年生から大会がある。防具は一式身に着けていないと大会に参加できないが、体が小さいから参加できないという認識ではない。

【西山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、14番の事業説明については終了する。
- ・本日本日予定していたヒアリングがすべて終了し、事務局で14団体分の集計を行っている。集計が整うまでの間、前回の協議会から引き続き、自主的審議事項である「アンケート『地域づくり(子育て支援)に関する調査』」の設問の最終確認を行いたいと思う。前

回出た案を基に設問を作成している。意見等があれば願います。

【清水委員】

- ・設問（7）の意見交換会の開催の希望日は、希望する曜日を第1希望から第3希望まで書き入れてもらうようにしたらどうか。
- ・1ページ目の「回答が難しい設問は空欄で構いません」の文言は、目立つように項目を起こし、文字ポイントを挙げたほうが良いと思う。

【西山会長】

- ・他に意見等があれば願います。
- ・無いようなので、アンケートの設問に関しては、今回いただいた意見を基に進めることでよろしいか。

（一同、異議なし）

- ・続いて、その他連絡事項について、事務局に説明を求める。

【山岸所長】

- ・「牧区総合事務所 職員配置図」について説明。
- ・「牧区の概況」について説明。
- ・「上越市「地域の宝」認定制度の周知チラシ」（文化行政課）について説明。
- ・「ドキュメンタリー映画上映会&トーク「RBG 最強の85才」（上越市男女共同参画推進センター）について説明。
- ・「ニューズレター「創造行政」（上越市創造行政研究所）について説明。
- ・JCVが、エリア拡大をする該当集落へ加入促進の説明を始めたことを情報提供。

【西山会長】

- ・集計が出るまで、一旦休憩とする。

（休憩）

【西山会長】

- ・集計が出たため、協議を再開する。
- ・採択・不採択事業の結果について、事務局に報告を求める。

【藤井班長】

- ・事務局より、採択・不採択事業の結果について報告する。
- ・審査票を集計した結果、14件全てが、委員の半数以上の○判定により採択となり、

補助希望額は総額623万6千円となった。改めて、採択事業及び補助金額についての協議・確認をお願いします。なお、提案団体への結果通知書については、採択決定後に速やかに送付する。

【小黒委員】

- ・「泉 棚田ほたる事業」に関しては、委員12人のうち半数の6人が基本審査で×としている。半数以上が○としているのでこの時点で不採択にはならないが、これらの回答状況を踏まえると、今後の考え方が見えてくるのではないかと。

【西山会長】

- ・半数以上が×にしているため不採択とすることについて、何か意見はあるか。

【井上委員】

- ・この審査票は提案者の方には開示していないのか。

【西山会長】

- ・開示していない。

【井上委員】

- ・フロー図に記載されている「審査票の○×を集計し委員の半数以上の○で採択事業を選定」とあるが、これは基準ではないのか。

【西山会長】

- ・基準であるが、それを踏まえた上で予算配分額を超えている分に関して、按分にするのか、もしくは点数によって足切りにするのかを議論していただきたい。

【坂井議員】

- ・基本的にはこの14団体は通った。金額をどのくらい減らしたら良いかをこれから議論する必要がある。14団体のうち最下位であった団体からどのくらい減額するのかを議論していくということによろしいか。

【山岸所長】

- ・昨年は予算内に収まったが、一昨年は予算額を大きく超えて全ての提案が採択されたため、按分をかけた。その結果、希望金額のおおよそ7割掛けの配分となった団体で、採択された団体から、自主財源がないので事業を実施できないと最終的に戻された。その返戻分を再配分したが、果たしてその対応が良いのか。今年も按分を行えば、また同様の事態が起こるのではないかと懸念される。それを踏まえて500万円に収め

るためにはどうすればよいか議論していただきたい。

【坂井委員】

- ・提案の中で、金額的に多く取りすぎている団体も見受けられる。削れるものを削って、減らすことはできるのか。

【西山会長】

- ・それは協議会の中で委員が決めていいのか。

【山岸所長】

- ・各団体の金額をどの程度減らすかについては、委員の皆さんで話し合っていていただき、一つ一つ決めていただくことになる。

【横尾委員】

- ・基本審査で○を12点取っているところを満額として、12分の11取っているところ等を調整してみてもどうか。

【山岸所長】

- ・今横尾委員が言われた、12点取っている団体と11点取っている団体の金額を合計すると、480万となる。12点の団体を100%として11点の団体の金額をどれだけ落とすかだが、12点取った団体全てを補助率100%とすると残額が少なくなる。補足だが、事務局としては、総得点を基準にして順位を出している。

【横尾委員】

- ・私個人の意見であり、総体の意見に合わせる。

【飯田委員】

- ・前年同様、傾斜配分すると、また補助金を返戻するという事案が想定される。仮に金額の大きい提案事業に関しては順位が下位であってもリスクが少なく、上位であっても少ない金額で提案している事業は傾斜率によってさらに減額となる場合もある。委員の中にも提案団体の関係者等見受けられるが、心を鬼にして厳しく審査し、横尾委員の意見にもあった委員全員が適正と認めたものに関しては100%の補助率とし、残りの提案事業をどうするか考えた方が話がスムーズに進むのではないかと。

【西山会長】

- ・委員全員が○をつけたところは満額とし、それ以外の5団体をどのようにするか。
- ・「泉 棚田ほたる事業」が、半数が○、半数が×であり不採択に近いという意見も出た

が、まずこれを不採択として残りの提案をどうするか、もしくは「泉 棚田ほたる事業」を含めて考えるか。

【井上委員】

- ・泉町内会の活動自体は素晴らしいと思う。ただ、多くの団体から提案があり、金額が限られているときに、予算額の5分の1である100万円は厳しいと思う。

【横尾委員】

- ・不採択には反対である。

【池田委員】

- ・今の意見だと、委員全員が○としたものに関しては採択という方向性でよいか。そして、「泉 棚田ほたる事業」を採択もしくは不採択とすることを議論するのでよいか。
- ・また、一人でも満場一致でなかったところをどのように減額するのか。委員全員が○としたものに関しては100%補助するとして、残りの予算をどのように考えるのか。泉町内会の100万円は金額的に大きいですが、傾斜配分した場合事業はできるのか。

【山岸所長】

- ・確かに12点取っている団体を満額として単純に計算すると324万4千円、11点のところを仮に90%として合計を出すと480万円となり、20万円しか残らない。必然的に全体を落とすのか、11点取っている団体の補助率を70%、80%として残しを増やすのか。12点、11点を今回上げたが、他にも10点の川上地区や6点の泉町内会の割り当てられる金額が非常に減少することが想定される。

【難波委員】

- ・例えば沖見地区だが、基本審査が11点であり、基本審査で不採択とした委員は共通審査の点数には入っていない。11名の審査で607点もある。それに対し、委員全員が賛成している棚広新田に関しては、12人合わせても541点である。それを考えると、基本審査が12点だから、11点だからというのはあまり関係ないのではないか。

【山岸所長】

- ・それを踏まえ、今までの傾斜配分に関しては総得点で考えている。委員半数以上が○としているのであれば、○の数に関係なく得点で算出している。

【西山会長】

・「泉 棚田ほたる事業」を採択とするか不採択とするか、賛否を聞きたいと思う。

—（不採択とする意見が多数あり）—

・多数の賛成により、「泉 棚田ほたる事業」は不採択とする。

・残りの23万6千円をどのように扱うか。

【小黒委員】

・事業の内容にもよる。減額になった場合、牧剣友会の防具3着であれば2着に減らすこともできるが、コンサートの場合は同様にいはいかない。

【飯田委員】

・平均点はどのような考え方か。

【藤井班長】

・平均点の考え方は、共通審査で○と答えた人の人数で総得点を割ったことにより算出したものである。

【坂井委員】

・希望されている金額に対し、1割を取ったとしたらどのくらいの金額になるのか。
各団体に別々の補助率を掛けるよりも、一律同じ補助率を掛けた方が良いのではないか。

【西山会長】

・もともと少ない金額で申請している団体から1割引くと、一層少なくなる。

【坂井委員】

・16万円であれば、1割だと1万円ぐらいの負担金になるので、提案団体はその分をどのように出すのかを議論すればよいのではないか。

【山岸所長】

・上位13団体を合計すると23万6千円が超過している。予算内に収めようとする、13団体で割って一律1万8千円負担となる。按分するのであれば、23万6千円分を予算に当てはめるような按分を事務局側で作成する必要がある。

【小黒委員】

・どの団体も満額での補助を希望して提案を出しているのであり、満額の団体がないとよろしくないのではないか。

【難波委員】

- ・予算というものがある関係で、どうしても500万円以内に収めなければならない。
一般的に考えれば、委員全員が賛同している提案もあり、13位の川上地区を不採択として、余った金額を市へ戻した方が、満額もらえるところを調整してわざわざ90%、80%で算出するよりも説明がつくのではないか。

【西山会長】

- ・約20万円でも、せっかく割り振られた予算であり市へ返納するのは切ない。

【小黒委員】

- ・では、余った20万円を希望があれば再配分してはどうか。

【佐藤委員】

- ・確かに点数は低めであるが、採択が10人あったのだから、川上を無下に削るのは好ましくないとと思われる。多少下げなければならないが、平均点や総得点の一番多いところで84.6%くらい、下位だと63%くらいである。23万6千円を減らしていく分には、満額として、それ以外で何とか23万6千円を割り振れないか。総得点なのか、もしくは補助希望金額に対しての補助率なのかも考慮して配分してもらえればありがたい。

【山岸所長】

- ・総得点の中で8位までを100%とすると合計が291万4千円となる。9位から13位までを90%とすると208万8千円となり2千円だけ超過となる。この2千円の超過を90%の団体内で調整するか、もしくは13位の川上地区から減額するか。いずれにせよ、傾斜配分することが決定されれば、第2回の協議会の開催が必要となる。そこで委員の皆さんに最終結果を報告するかたちとなる。

【西山会長】

- ・8位までは100%、9位～12位までを90%、13位が90%マイナス2千円とすることでよろしいか。

— (異論なし) —

【藤井班長】

- ・次回、5月18日(火)午後6時30分開催の第2回地域協議会にて事務局より審査結果を改めて報告する運びとなる。

【西山会長】

- ・ほかに意見を求めるが無く、令和3年度地域活動支援事業ヒアリングを終了する。

- ・続いて、その他連絡事項に移る。

【井上委員】

- ・「上越ケーブルビジョンについて」、町内の総会で話が出たのだが、電波が入らない人のためにケーブルビジョンが何うと説明を受けた。しかし、電波が入るかどうかに限らず、内容等も関係すると思われる。文章等を示してもらえればありがたい。

【山岸所長】

- ・井上委員の意見は、ケーブルビジョンに対しての意見であるか。

【西山会長】

- ・町内会長のもとに J C V が訪問し、話した内容によると、該当する場所には個々に説明に何うとのことだった。一方、私の町内の場合は共同アンテナ等の関係もあり、町内会全体で集会所に集まり、説明を受ける方向で話が決まった。基本的には、J C V は個々に説明に何うとのことである。

【井上委員】

- ・分かった。それがいいと思う。

【山岸所長】

- ・集落の窓口を町内会長としているので、町内会長と J C V のやり取りの中で決めた方法にもよるが、基本的には清里区同様、個々に説明に何うとのことである。

【西山会長】

- ・J C V の説明について、理解するのに時間がかかる。それを踏まえ、個々に尋ねるよりも大勢の中で説明を行った方が良く考える。

【山岸所長】

- ・町内会長に 1 度確認してみてはどうか。

【井上委員】

- ・了解した。

【西山会長】

- ・意見を求めるが無く、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。